

2014年5月20日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報20号

リオ州における文民警察の労働組合ストライキについて

報道及び警察労働組合に確認した情報によれば、リオ州含む5州の文民警察の労働組合(Cobrapol)が、5月21日(水)0時より24時間のストライキを実行することを決定しました。

以下のとおり、リオ州における文民警察の活動は通常の30%の人員で行われる模様です。治安維持は一義的には軍警察の担当ではありますが、文民警察の活動縮小によっても治安維持上の問題が発生する可能性がありますので、当日は安全に十分注意願います。

ストの概要は、次のとおりです。

19日(月)リオ州を含む5州の文民警察の労働組合(Cobrapol)が、全国給与均一、安全条件及び施設の改善化等を求め、21日(水)0時より24時間のストを決定。

リオ州のFERNANDO BANDEIRA文民警察労働組合長によると、憲法に基づく30%の公務を確保し、残り全ての組織においてストに入る。また、21日(水)以降もストが続行かどうかは21日中に決定する見込み。

組合は80%のベースアップ、賞与(R\$850リアル)の給与への導入固定、食費チケット及び交通費の金額アップを要求している。

ストに伴う集会場所としては、リオ文民警察職員組合(Sinpol)が21日(水)午前9時より文民警察本部 CHEFIA DE POLICIA 前(セントロ地区 RUA RELAÇÃO,40)で、また、リオ文民警察労働組合(Sindpol)は、午後2時ジャカレ地区の文民警察センター(Cidade de Policia Civil)において、及び午後7時に Club Municipal 前(チジュッカ地区 RUA HADDOCK LOBO,359)においてそれぞれ実施される予定。

つきましては、ストライキ当日は、

- (1) 不要不急の外出は避ける。
- (2) 普段警察当局の巡回等が行われ比較的安全とされている場所(観光地等)や地区

においても注意を怠らず、安全に十分留意するようお願い致します。

なお、今後「ワールドカップ開催」に反対する抗議デモや突発事案等の発生に伴い、外出を控えなければならない事態も想定し、保存のきく食糧や水等、生活必需品の備蓄に努めておくことにより、非常時における安心感に繋がりますので、ご確認・確保にご留意願います。